

「大日本印刷市谷工場整備事業」に係る環境影響評価書案に対する区長意見（案）

1 景観について

本件評価書案において景観調査地点は9地点選定されているが、計画地西側からの景観調査地点がない。

近隣の住民から、計画地西側からの景観評価を要望する意見が区に寄せられ、また先般の住民説明会においても同様の意見が出されている。

計画地西側には、計画建物の可視性や不特定多数の人の利用度・滞留度の点で公園等適切な地点が見あたらないとのことであるが、高層棟の高さが125mあり、その景観予測は近隣住民の大きな関心事である。

よって、計画地西側にある牛込仲之小学校、薬王寺児童館・ことぶき館、東京女子医科大学病院等の公共性のある地点から、景観調査地点をいくつか選定し、計画地西側からの景観の評価を追加実施されたい。

2 騒音・振動について

評価書案では、都の環境確保条例に基づく勧告基準値を下回るとしているが、工期が9年にもわたることから、周辺住民の生活や健康に与える影響は無視できないものと思われる。

工事期間中、評価書案にある騒音・振動が常時発生し続けることはないとしても、建設用機械や工事車両の集中稼働による過度な騒音・振動の発生が危惧される。周辺住民の日常生活への影響を最小限にするよう、工事計画の策定や・工事の施工に際しては十分に配慮願いたい。

工事計画が具体化した際には、騒音・振動の発生状況や工事車両等の通行について、周辺住民の理解が得られるよう十分な説明を行い、また安全確保に努められたい。

3 土壌汚染等について

土壌汚染については、事業実施前までに掘削除去等を完了するとのことであるが、周辺住民の不安を払拭するため、地下水の汚染や既存建物のアスベストを含め、発生や処理に関する情報を周辺住民に公開し、今後とも適切な処理を行われたい。